

令和2年度第3回 文化財保護委員会 抄録

1 委員長あいさつ

2 協議事項

(1) 安城市指定文化財の指定解除について

(事務局)

- ・「安城北部小学校のなんじゃもんじゃ」は、平成30年頃から樹勢に衰えが見え始めていた。平成31年2月に市指定天然記念物となり、天野敦委員の指導のもと樹勢回復を図ったが、令和2年4月に枯死を確認した。
- ・「古井戸跡」は、古井町の町名の由来になっている井戸で、平成11年に当時の土地所有者の合意のうえで指定した。当地の相続者がアパート建設を希望していたことから地元町内会や公園緑地課とともに相続者と協議を重ねたものの説得に至らず、令和2年12月で滅失となった。
- ・指定されていた古井戸跡は、実際に古井戸があった場所から約20m離れた場所にある。今回は元の井戸と井戸枠が無くなってしまったため指定解除ということになる。

(委員)

- ・夏頃に樹木の活性剤を投与したが、樹勢回復には至らなかった。
- ・個人所有の文化財は世代交代時に上手く引き継げない問題が今後も出てくるだろう。そのために文化財管理調査などの場で啓発していければ良い。
- ・三河四名井があるが、古井と桜井、藤井、浅井に井という字があるのは井戸だからか。
→質問の通り、井戸だからである。安城市内の古井、桜井、藤井は史跡として指定されているが、西尾市の浅井は当時の場所が分からないため指定されていない。
- ・井戸は井戸枠という物件としてだけではなく、地名の元になったという伝承を含めて残していくのが良い。
- ・石碑と井戸枠はどうなったか。
→本年度3月末までに完成する都市公園に移設した。また当地に古井町内会が作成した歴史看板を設置予定。
- ・現指定地自体が本来の場所でなかったことを考えれば、移設した場所での再指定を検討しても良い。
- ・古井戸は地名伝承の元となる痕跡に当たるため、場所を移しても根拠となるものの再指定を検討すべき。
- ・指定書に記載してある場所から変わってしまったため指定解除になるが、意義や伝承については看板等で残す必要がある。
- ・再指定時のカテゴリーについては、地名伝承の起こりとして井戸の存在を考える必要がある。有形無形に関して井戸という構造物をどう捉えるか、人の暮らしに関わっているものとして境界線は検討の必要がある。
- ・「安城北部小学校のなんじゃもんじゃ」は指定解除で異議なし。

- ・「古井戸跡」は意味や意義、歴史等を伝えられる資料を補強して再指定の検討も含めて指定解除することで異議なし。
- ・古井戸について地元はどう受け止めていたか。
→古井戸を残して都市公園を作りたいという回答が83%だった。
- ・答申素案について、今後のことも視野に入れて解除する理由を明確に記載する必要がある。例えば、文化財指定の条件を維持できないと認められたためなど。

(2) その他

なし

3 報告事項

(1) 阿弥陀如来坐像（神光寺（上条町））について

(事務局)

- ・文化財管理調査で確認した阿弥陀如来坐像について、椛山女学園大学の見田准教授に意見を求めたところ、作成年代は江戸時代で、高棚町の薬師如来坐像より新しいと考えられる。現時点では指定の必要な尊像とは感じないとの意見だった。

(2) 市指定相撲土俵四本柱（神光寺（上条町））について

(事務局)

- ・文化財管理調査で確認した相撲土俵四本柱のうち1本の展示方法に改善の必要があったため改善を求めたところ、土俵柱に紐を括り付けて固定していた説明板を外して鴨居に鉤を付けて説明板を設置した。また受け部分が土俵柱に直接置いてあった点については、受け部分に額布団を敷いて土俵柱と受け部分の間にクッションを設けた。

(3) 文化振興計画の策定について

(事務局)

- ・本計画での文化振興とは、市民が主体的に文化芸術に参加することと考えている。
- ・文化財保護は文化財自体が保存とともに価値を市民が共有しないと真の文化財保護にはならないため、文化財や地域の歴史の共有について市民が主体的に参加してもらうためにはどうすれば良いか。伝統文化の伝承活動に関して、どうすれば市民が積極的に参加できるようになるのか。これらを文化財保護部分としては大きく扱っている。

(委員)

- ・具体的な事業はどのようなものか。
→本計画の肝にもなっているアートマネジメントの向上については、文化芸術団体による団体運営能力の向上や市職員の文化振興に対する意識の向上を目指している。これは令和3年度から着手すべきと考えている。

・伝統文化団体の後継者育成についてはどうか。

→なぜ卒業後に伝統文化を続けないのか調査したところ、ひとつの意見として年代の近い先輩に誘って欲しいという意見があった。このことを念頭に置いたアプローチをしていきたいと考えている。